

# 地域と時を紡ぐ人々

連綿と受け継がれる地域の伝統や芸能、自然などを次代に継承する方々を、広報たかやまではシリーズで紹介していきます。

## 第六章 自然を守り、後継者を育成

―入山した人々を案内すると自分の心も豊かになる―と笑顔で語る「乗鞍山麓五色ヶ原の森」ツアー案内人の上平尚さん（73）。

丹生川町で旅館を営む傍ら、環境省の自然公園指導員も務め、ラ

イチョウや高山植物の保護に取り組みほか、乗鞍山麓救助隊も設立し、国際スキーパトロール員のノウハウも生かして、登山事故の防止などにも取り組まれています。

平成16年に五色ヶ原の案内人を配して渓流や滝、湿原など変化に富んだ自然景観が楽しめるトレッキングコースを開設。ツアー客の安全を最優先に「採るな・捨てるな・踏み荒らすな」を指導しつつ、自然の優しさと厳しさを伝えます。

―人間は自然を守っているのではなく、守られている―と自然の包容力や満足感を一人でも多くの人に感じてもらいたいと、日々ガイドに携わっています。

今後の目標は「来た人を楽しませる技術を持った案内人を育てたい」と意気込む上平さん。後継者を育てる眼差しに向こうには、自然豊かな乗鞍岳の未来が写っていました。



「自然に関わる仕事をしてきて本当に幸せ」と話す上平尚さん

ツアーの  
お問い合わせは  
五色ヶ原の森  
ツアーセンター  
☎79-12344

広報  
市長だより  
30

80周年を  
迎えるにあたり

高山市長 國島芳明

昭和9年10月25日に高山本線が全線開通。その年の12月4日には中部山岳国立公園の指定がありました。いずれも今年で80周年を迎えます。

高山をはじめ飛騨地域の歴史にとってこの80年間は、まさしく高山本線と中部山岳国立公園とともに歩んできたといえます。わたしたちの生活や地域の発展などに果たしてきた役割は計り知れません。

長きにわたり、自然・公園の保護や高山本線の発展など、地域の振興にご尽力いただいた先人の皆様のご苦労の上に、現在のわたしたちが生きていることを改めて痛感いたしますとともに、これから一層の高山市の発展に向けて、市民の皆様と一緒に取り組んでいくことの重みも改めて痛感いたしました。

今年80周年の記念イベントが市内外で数多く開催されます。ぜひこの機会に市民の皆様もご参加いただき、高山本線と中部山岳国立公園の「大切さと魅力」を体感いただきたいと思います。

### 市長室へようこそ

●市民と市長の面談日

6月25日(水)

午前9時～正午

※事前にご予約ください



また、始業前の時間も市役所の市長室を「市民と市長の対話の場」として開放しています。お気軽にお越しください。

●開放時間

午前7時～8時30分まで

※出張や特別な行事がある場合は除きます。  
※市ホームページで市長の週間スケジュールを公開しています。

●市長室直通FAXもご利用ください  
FAX●32-7000

問合先 | 秘書課 ☎35-3130

ケーブルテレビの番組「ハイ、市長です」はインターネットでもご覧いただけます。  
<http://www.city.takayama.lg.jp/net-tv/index.html>